

## 現代経営学演習(2016年度)

担当：國部克彦

### I. 授業の目標

「現代経営学演習」は専門職学位論文（修士論文）を執筆するための研究指導（演習）を中心とする授業です。演習では、受講生の皆さんが実際に研究することを、指導するというスタイルが基本になります。皆さんは何らかの研究テーマをもって、神戸大学へ進学されたと思いますが、その研究テーマを学術的な問題にまで落とし込み、それを分析することで入学時には想像しなかった境地に到達すること、少なくともそのような境地があることを理解することが最終的な目的になります。

そのための合言葉を、**Think differently!** にしたいと思います。私たちは知らず知らずのうちに、既成の考えを受け入れてしまって、その枠組みでしかものを見れなくなっています。しかし、物事の本質はそこから逆に見えなくなっているかもしれません。多くの人が見過ごしている本質を見抜くためには、常に **Think differently!** を意識することが大切です。

また、大学院でのゼミは（学部も基本的にはそうですが）、研究室に所属することになります。國部ゼミに配属された方々は、國部研究室のメンバーとして研究して、成果を発表していくことになります。このことの意味は、指導教授が皆さんの方を向いて指導するのではなく、指導教授と研究室のメンバーが同じ方向を向いて、社会の難問に挑戦することです。ここは、國部研究室の「精神」として、非常に重要なポイントになります。なお、國部研究室の詳細については、<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~kokubu/>を参照してください。

### II. 演習スケジュール

各演習では、それぞれテーマを持ちながら、受講生の研究テーマを深め、方法論の講義も含めながら、修士論文執筆への基礎を作っていきます。実際の研究に取り掛かるまでの基礎研究を重視してゼミを進めます。研究は遅れては問題外ですが、急ぎすぎても大きな成果をえることはできません。しっかり、準備していきましょう。

#### 1. 9月3日 1,2限「研究とは何か？」

初回のゼミは、研究とは何かについて考えます。神戸大学 MBA 編『人生を変える MBA』有斐閣の第19章「MBAで論文をいかに書くか」を読んできてください。國部の方からプレゼンをした後で、皆さんの研究テーマについて、簡単にディスカッションもしたいと思います。

#### 2. 9月24日 1.2限「研究テーマの領域を考える」（3,4,5限はM2のポスターセッションへ参加）

研究テーマは漠然と考えるだけではいけません。研究テーマが意味する領域の大きさを具体的に把握し、特定することが重要です。研究テーマについて、できるだけ多くの情報を集めて、今何が問題になっていて、どのような課題があるのか考えてゆきましょう。各

人の研究テーマについてプレゼンをしてもらいます。

### 3. 10月15日 3,4,5限「Rを使った統計分析演習」

群馬大学の新井准教授をお招きし、Rを使った統計分析の方法を学習します。テーマは下記のとおりです。

- ・因果関係とは
- ・Rの基本操作
- ・アンケート設計と今日分散構造分析演習

### 4. 11月5日 3限「ケーススタディの方法について」

広島経済大学の天王寺谷准教授をお招きし、ケーススタディの方法を学習します。

参考書：ロバート・K・イン（2011）『ケーススタディの方法（第2版）』近藤公彦訳、千倉書房、佐藤善信監修、高橋広行・徳山美津恵・吉田満梨（2015）『ケースで学ぶケーススタディ』同文館出版

#### 4,5限「先行研究を調べる」

研究テーマについての状況がある程度明確になったら、その領域でどのような先行研究が行われているのかについて、報告してもらいます。学術文献、実務文献を問わず、できるだけ多くの文献を収集して、問題領域の最前線を見極めましょう。

### 5. 12月10日 1,2限「古典を読む」

この回は、これまでの研究を一旦棚上げして、一見全く関係ないようだけれども、奥の深いところで関係していそうな「古典」を探してみましょ。現在の問題も、その構造は過去の先人たちが分析してきたことと驚くほど似ていることがあります。

### 6. 2月4日 1-5限「リサーチ・プロポーザルの報告」

修士論文に向けて、リサーチプロポーザルを発表してもらいます。研究目的、先行研究のサーベイ、予定している研究方法、期待される成果などを報告してください。また、次回のゼミまでに何をするのかも示してください。

### 7. 3月4日 1-5限「研究の進捗報告」

2月に報告した指針と自ら示した1月間の宿題がどのように進展したかを報告してもらいます。また、2月及び3月には、過去の修士論文の優秀論文のいくつかを報告してもらう機会も考えたいと思います。

## III. その他

MBA 國部ゼミ生を中心に「神戸 CSR 研究会」を組織しています。すでに10年を超えました。これらのOBとの研究上の交流の機会をもつように運営します。また、受講生の希望があれば、企業関係者、外部講師の招聘や、企業訪問、セミナーの開催など、外部との関係も積極的に活用したいと思います。